〈特集1〉

みんなで つくる おかやの未来

今年2月に、ララオカヤの解体と駅周辺エリアの活用について
「岡谷駅周辺まちづくりの方針」を発表しました。
市では、令和6年度に行った基礎調査を基に官民で連携し
「おかやの未来」を市民のみなさんと
一緒につくっていきたいと考えています。

全国的に広がっている これからの「地方都市のまちづくり」

地方都市の再整備を進めるにあたり、「ポジティブスパイラル」という考え方を基に、全てを行政に任せるのではなく、市民のみなさんとビジョンを共有しながら徐々に整備を進めるという手法が、全国的に取り入れられています。

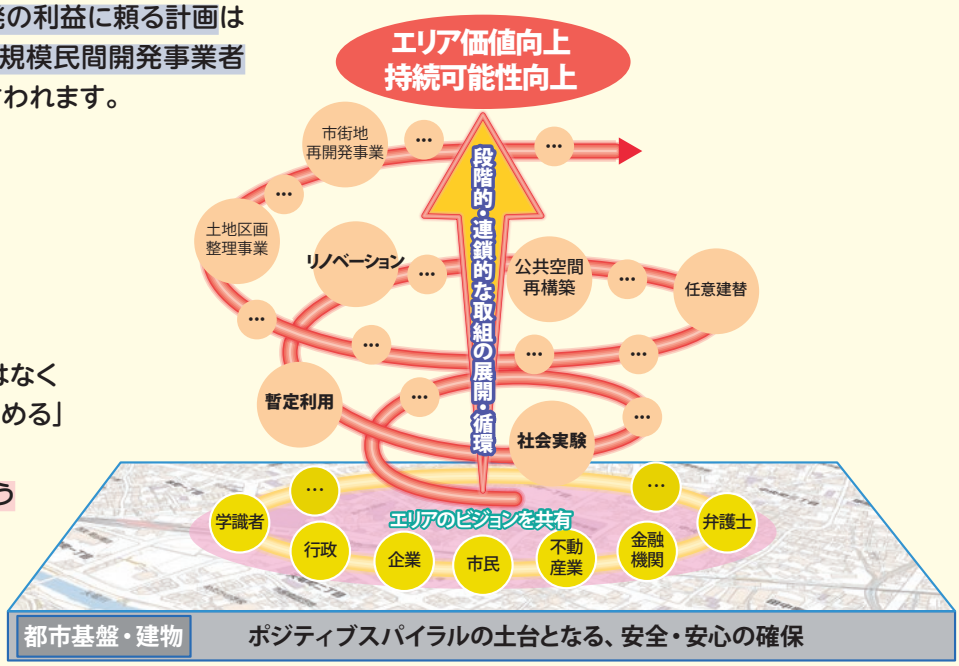
「ポジティブスパイラルとは」
できることからはじめ、評価と改善を繰り返し、取組自体も軌道修正しながら、更新・展開していくこと。

これまでの整備手法

人口減少が進む地方都市では、都市部のような開発の利益に頼る計画は成り立ちにくく、大規模民間開発事業者の参画は難しいと言われます。

官民連携によるまちづくり

近年、再整備は瞬時に進めるのではなく「市民一人ひとりが、できることから始める」というスタイルに変わりつつあります。
「こんなことができたらいいな」という「種」をまき官民が連携して社会実験などを繰り返し、みんなで方向性を確認していきます。



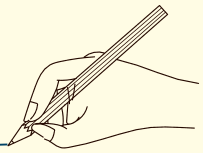
これからの整備手法

これを渦巻状（スパイラル）の階段のように繰り返し行うことで、場所の「価値」を上げ、持続するまちづくりを実現させていきます。
このような手法が「空間・機能確保のための開発から、価値・持続性を高める複合的更新へ」とする「市街地整備2.0」として、地方都市の再整備の考え方として全国に広がっています。

解説は
国土交通省HPへ

令和6年度に行った基礎調査を基にでき上がった

岡谷駅周辺まちづくりの方針



基礎調査の結果は
岡谷市HPへ

令和6年度、官民で連携してまちづくりを進めるために、岡谷市周辺の基礎調査を行いました。この結果を基に、市として新たに「岡谷駅周辺まちづくりの方針」を発表し、「まちづくりの4つの目標」を定めました。

この目標に向けて、市民・団体・事業者・行政で連携し、「おかやの未来」を考えていきましょう！

＼目指すまちの姿／

岡谷駅エリアからはじまる みんなで織りなす 魅力の連鎖

まちづくりの基本方針1

駅周辺のポテンシャルをいかして、エリア全体の価値向上をめざす

都市機能誘導や賑（にぎ）わい創出のポテンシャルを秘めている駅周辺の魅力を向上させます。

まちづくりの基本方針2

これからの社会変化に柔軟に対応しうるポジティブスパイラルの実現をめざす

小さな成功例を積み重ねながら、エリアの価値を向上させます。

まちづくりの基本方針3

駅前等、パブリックスペース活用を起爆剤とした戦略的まちづくりを実践する

まずは駅前の賑わいを創り、周辺へと広げていきます。

基本方針を基に導き出された
まちづくりの「4つの目標」

目標1	目標2	目標3	目標4
人やものを呼び込む駅周辺の核づくり	政策課題に資する環境整備	魅力の軸づくりと連鎖	官民連携まちづくりの土台づくり

じっくり話し合って進めていく

今後のスケジュール

ララオカヤの解体は、令和8年度中に始まり、令和10年度中に完了する予定です。それ以降は、話し合いや実証実験などを行いながら進めていくことになります。

解体開始 ▼ ▼ 解体完了

1年半から2年

令和8年度中　　令和10年度中

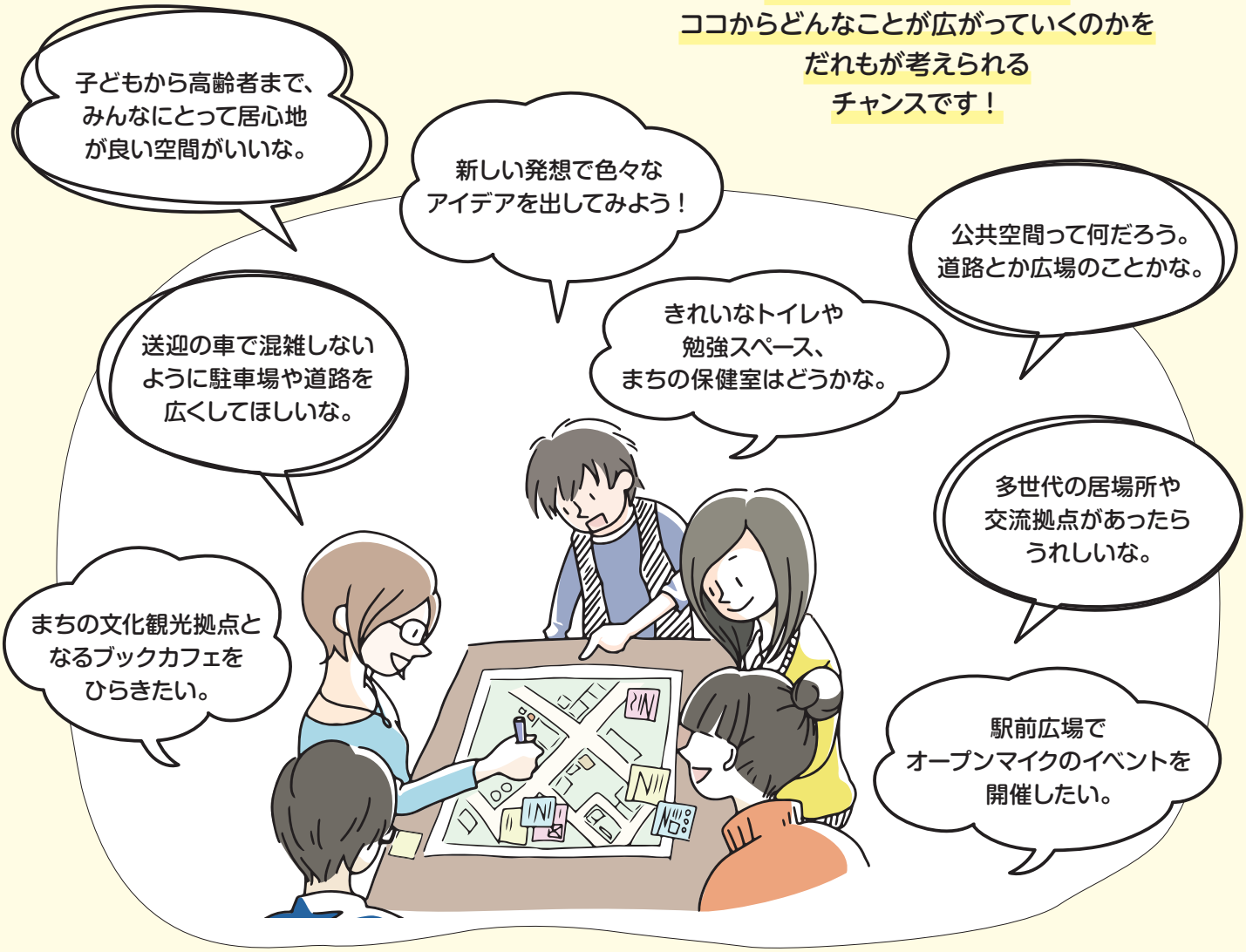
中心市街地のこれからを考えていきましょう！ → おかやの未来

チャンス到来！

みんなでアイデアを出し合おう！

「岡谷駅周辺まちづくりの方針」を基に、市民のみなさんと一緒に「岡谷駅周辺まちの将来ビジョン」の策定を進めていきます。

ココでどんなことができて
ココからどんなことが広がっていくのかを
だれもが考えられる
チャンスです！



あの場所、こんなふうに使えたら面白いかも！

●岡谷駅周辺地域の公共空間を多く利用する一歩として、活用コンセプトや取組アイデアをまとめた『プレイスビジョン』を考える連続ワークショップを開催します！

●日時、開催場所、応募方法等は決まり次第、まちづくり整備課ホームページに掲載します！

ワークショップ　参加無料

問合せ：まちづくり整備課　内線1334

市民参加で未来図ができました！

岡谷TMO主催の「岡谷まちなか会議」で作成された未来図

〈特集2〉

新たな計画がスタートしました！

第5次岡谷市総合計画後期基本計画を、より効率的かつ効果的に推進していくため、令和7年度からスタートした新しい計画を紹介します。

岡谷市こども計画

基本目標 令和7年～11年（5年間）

- すべてのこどもの権利を守り自分らしい育ちを支援する《重点項目》
- ライフステージに応じた切れ目ない支援を強化する
- 地域全体でこどもを育てる「こどもまんなか社会」を実現する

基本理念の「とも育ちを実践し、輝くこどもをみんなで育てる“まゆっこのまち”」を実現するために、すべてのこどもの権利が守られ、自分らしい生活を送ることができるよう、特に力を入れて取り組みます。

問合せ●子ども課（内線1266）

第５次岡谷市環境基本計画

（第２次岡谷市地球温暖化対策実行計画）
～人と自然が共生し、未来へつなぐゼロカーボン シティ～

基本目標 令和7年～12年（6年間）

- 持続可能なまち《地球環境の保全》
- 人と自然が共生するまち《自然環境の保全》
- 安心して暮らせるまち《生活環境の保全》
- 誰もが環境保全活動に参加したくなるまち《参加と協働》

環境問題は、地球温暖化対策や循環型社会の実現など多岐にわたることから、より包括的な視点で、市民、事業者、行政が一体となって取り組むための基本目標などを定めています。

問合せ●環境課（内線1445）

岡谷市学びの紡ぎ応援プラン

（第７次岡谷市生涯学習推進計画）
～一人ひとりが幸せに暮らしていくために～

基本目標 令和7年～10年（4年間）

- 様々な学びの形づくり
- 誰もが学び合える地域づくり
- 未来につなぐ学びづくり

幸せや豊かさに関する価値観やライフスタイルが一層多様化する中で、誰一人取り残されることなく、生涯学習活動を継続的に行うことができる機会や場の提供を行います。

問合せ●生涯学習課 TEL 24-8404

男女共同参画おかやプランⅦ

（第７次岡谷市男女共同参画計画）
～認め合い ともに輝く おかや～

基本目標 令和7年～11年（5年間）

- 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
- あらゆる分野において男女がともに活躍できる環境づくり
- 誰もが安全で安心して暮らせる社会づくり

性別にとらわれることなく、誰もが社会や地域で活躍できるよう、男女共同参画の意義や必要性について理解を深めるための意識・環境・社会づくりに取り組み、男女共同参画社会の実現を目指します。

問合せ●地域創生推進課（内線1363）

はつらつ岡谷スポーツプラン

（第３次岡谷市スポーツ推進計画）
～スポーツで笑顔あふれる元気なまち～

基本目標 令和7年～10年（4年間）

- 市民ひとり1スポーツの実現
- 競技力の向上
- 子どものスポーツ機会の充実
- スポーツ環境の整備・充実
- 第82回国民スポーツ大会
  第27回全国障害者スポーツ大会
  （信州やまなみ国スポ・全障スポ）の推進

第2次計画の基本目標に、新たに令和10年開催予定の「第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の推進」を加えた5つの基本目標を柱に、すべての市民が多様な形でスポーツと関わることで笑顔と元気があふれるまちを目指します。

問合せ●スポーツ振興課、国スポ・全障スポ推進室 TEL 22-8800

〈特集3〉

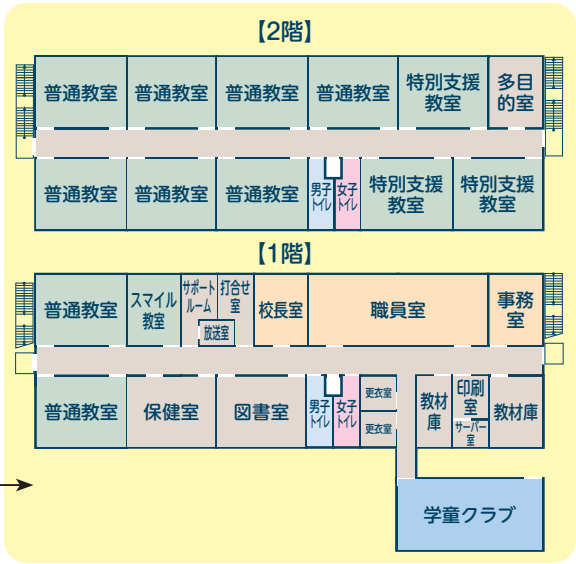
今年度から川岸学園整備が始まります

～川岸小学校の大規模改修のため、まずは仮設校舎の建設を進めます～

現在、決定している仮設校舎の内容をご紹介します

工事中は中学校の校庭や第二体育館を共用するなど、遊び場エリアも確保します。体育の授業や部活動は必要に応じて、川岸スポーツ広場を利用します。

仮設校舎　平面図



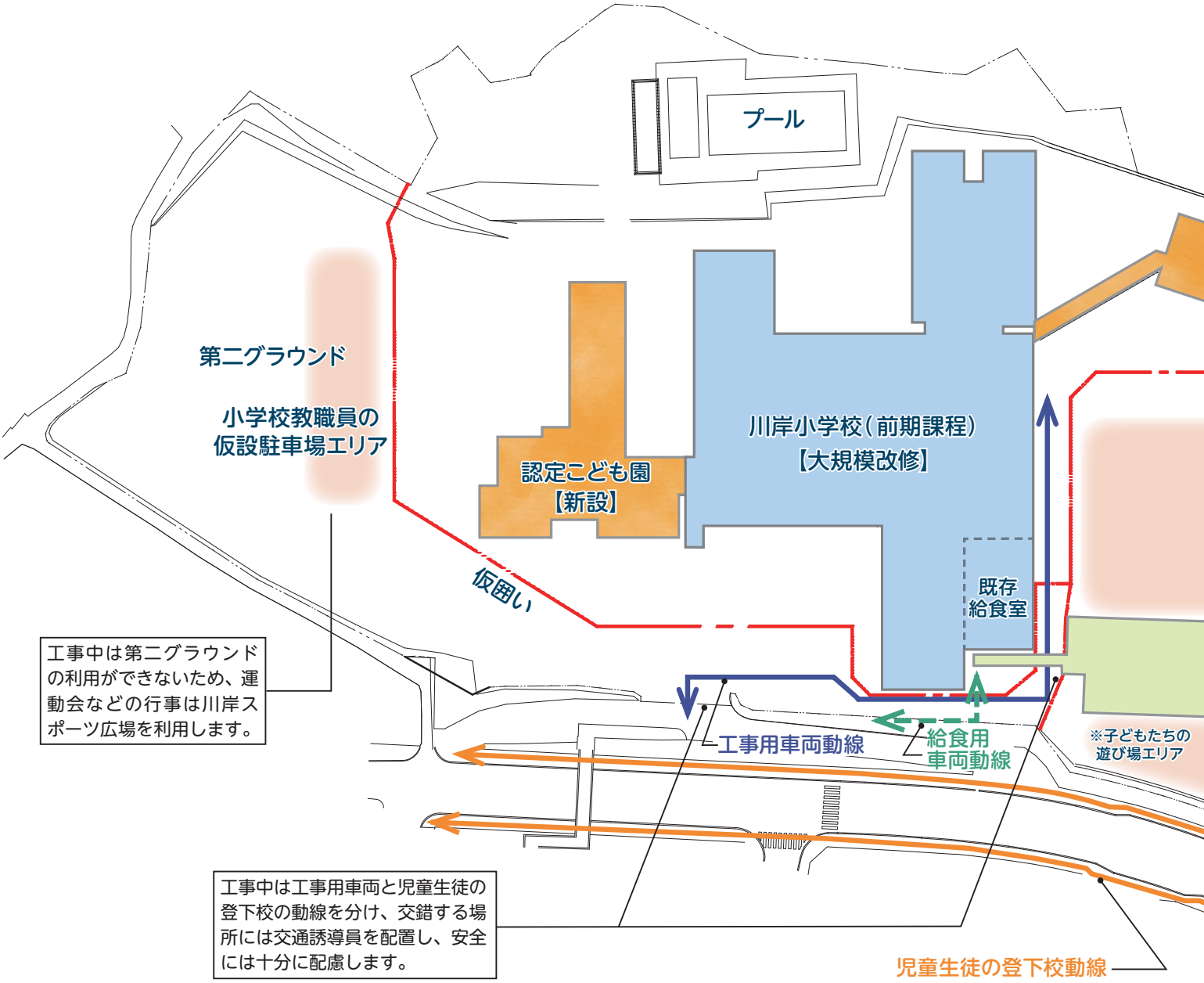
仮設校舎について

- 仮設校舎は中学校とも渡り廊下で接続し、教室には、エアコン・暖房を完備しています。
- 仮設校舎には1～5年生の普通教室と特別支援教室を配置し、6年生は中学校の教室を利用します。
- 小学校の音楽室や理科室等、特別教室は中学校の教室を利用します。給食室は現在の施設を使います。
- 校庭が工事区画となるため、工事中は中学校の校庭や第二体育館を共用するほか遊び場エリアも確保します。
- 運動会などの行事は、川岸スポーツ広場を利用します。
- 学童クラブも仮設校舎に移すため、お迎え等の駐車場は中学校の昇降口前を利用します。

問合せ　岡谷市教育委員会 川岸学園整備室　内線：1213

認定こども園を併設する義務教育学校の令和9年春の開校をめざし、現在の川岸小学校の校舎の改修工事等を進めるため、令和7年9月頃から仮設校舎の建設が始まります。

工事期間中(令和8年1月～令和9年2月末頃まで)は、仮設校舎や中学校の一部教室を利用して学校生活を行います。安全に工事を進めるため、通学路の変更や校庭・教室の利用に不便さがあるかもしれませんが、子どもたちの安全に十分に配慮してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



魅力ある教育と保育の環境づくりの検討が始まっています！

義務教育学校と認定こども園の開校・開園に向け、学校のグランドデザインやカリキュラム、こども園の教育保育理念・方針など、学園のソフト面の検討、協議を行う専門部会が令和7年1月より始まっています。

今までに開催した専門部会の協議内容は市のホームページに掲載しているほか、川岸学園NEWSにまとめていますので、ぜひご覧ください。

専門部会は
こちらから

川岸学園NEWSは
こちらから